

CASBEE®新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)
■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)

1. 建物概要

建物名称	清水フードセンター西内野店	
建設地	西区 五十嵐上崎山地内	
用途地域	第1種中高層住居専	
建物用途	物販店,	
竣工年	2015年10月 竣工	
敷地面積	8,102.17 m ²	
建築面積	2,105.28 m ²	
延床面積	2,062.02 m ²	
階数	地上1F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2015年4月20日	

2. CASBEE新潟の評価結果

 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{44.7}{40.3} = 1.1$
---	----	--

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.7		バリアフリー	4.0
			維持管理	4.0
			更新性	3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	2.6		耐震・免震	3.0
			信頼性	2.2
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.5		建物の熱負荷抑制	4.0
			自然エネルギー利用	3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.7		節水	3.0
			リサイクル材の使用	3.0
			再利用可能性向上	5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	1.5		生物環境の保全・創出	1.0
			敷地内温熱環境の向上	2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	3.0		まちなみ・景観への配慮	3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	3.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

新潟市の重点項目に関する配慮事項を記載してください。

- 1.長寿命化の取組み ……利用者に関われたバリアフリーの施設計画とします。
4.自然エネルギー利用の取組み ……外皮性能を最適に計画し熱負荷抑制を図ります。
5.資源循環の取組み ……リサイクル建材の使用、構造材と仕上材を分離可能な計画とします。

CASBEE[®]新潟

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.2.1)
CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版(BEI対応)

評価結果内訳

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	清水フードセンター西内野店	階数	地上1F
建設地	新潟県新潟市西区	構造	S造
用途地域	第1種中高層住居専用地域, 第2種中高層住居専用地域	平均居住人員	100人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	4,368時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年10月 竣工	評価の実施日	2015年4月20日
敷地面積	8,102 m ²	作成者	武田昌和
建築面積	2,105 m ²	確認日	2015年4月20日
延床面積	2,062 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (160 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 83% (133 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 83%

④上記+ 83%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 交通量の多い北側前面道路側に駐車場を設け、建物を道路から離す事で道路からの圧迫感を無くしています。建物は平屋建てとし、道路との境界部分は緑地帯を設けた上に壁面を後退させ、周辺の住宅への圧迫感を低減するように配慮しています。		その他
Q1 室内環境 快適な利用ができるように室内環境を計画しています。	Q2 サービス性能 売場の天井高さを高く確保し、利用者にとって広く感じる空間を確保しています。	Q3 室外環境(敷地内) 雨宿りや待合せができる歩廊を確保し、アメニティの向上を図ります。
LR1 エネルギー 外皮性能を最適に計画し、熱負荷抑制を図ります。	LR2 資源・マテリアル リサイクル建材の使用、構造材と仕上材を分離可能な計画とします。	LR3 敷地外環境 空調室外機等は防音フェンスで囲い、駐車場からの視覚に配慮すると共に、南側の搬入口から道路側も防音フェンスを設置し、騒音だけでなく配送車両等を視覚的に見せないよう配慮しています。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される